

voice 導入した医師から喜びの声が届いています



「すべての医師を
イヤピースから解放する」

目々澤醫院 院長 目々澤 肇

これまで医師は「イヤピースを耳に入れなければ、聴診できない」と思い込んできました。実際に聴診音をデジタル化するの、容易なことではありません。私も以前、デジタル聴診器を試作しましたが、聴診音を拾うことができずに挫折しました。ネクステートは、数々の困難を乗り越えて開発された、夢の聴診デバイスです。これさえあれば、医師はイヤピースから解放される。まさに聴診の革命です。



「まったく新しい聴診ツールが、
医療の可能性を広げる」

ともこどもクリニック 院長 太田 智和

聴診器は、医師にさまざまな負荷をもたらします。首にかけ続けることで、慢性的な肩こりに。屈みながら聴診する際には、腰痛を引き起こす一因になっていました。ネクステートはこうした問題を一気に解決。従来のチェストピースを用いることで、これまでと同じフィーリングで診療できます。聴診音をカルテに保存できる可能性も秘めており、今後も楽しみです。受診する子どもたちからも、まったく新しいツールとして興味を持たれるはず。そんな期待もあります。

Specification 製品情報

名称
SDNX-01G ネクステート



電源関係

充電池 / 内蔵型リチウムイオン
充電時間 / フル充電 2 時間
連続使用時間 / 約 4 時間
連続待機時間 / 約 250 時間
充電方法 / USB 充電 (Micro USB TypeB)

入出力端子

3.5mm ミニジャック / 2 系統
USB 充電 (Micro USB TypeB)
USB Audio 対応、バッテリー充電、ファームウェアアップデート用

寸法・質量

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行 / mm) : 44.6 × 86.2 (ネック部含む) × 21.6
重量 : 約 60g

付属品

ネクステート本体 : 1 台 O リング : 大2、小2
Micro USB TypeB ケーブル : 1 本 アジャスターチューブ : 1 個
取扱説明書 : 1 枚

対応チェストピース

対応チェストピース
3M™ リットマン™ ステスコープ カーディオロジー IV™
マスタークラシック II™・クラシック III™・クラシック II (小児・新生児用)

Bluetooth 機能

通信方式 / Bluetooth 標準規格 Ver 4.2
使用周波数帯域 / 2.4 GHz 帯 (2,4000 GHz - 2,4835 GHz)
変調方式 / FHSS
対応 Bluetooth プロファイル / A2DP
対応コーデック / AAC

動作温度

温度 0℃ ~ 55℃



注意事項

- ・ネクステートは医療機器ではありません
- ・チェストピースは付属しません
- ・充電は市販の USB 充電器を使用してください
- ・使用するヘッドフォンやイヤフォン、スピーカーは 10Hz 前後の重低音が出力できるもの、またはハイレゾ音源対応製品を使用してください

nexstetho.com 詳しい製品情報はホームページをご確認ください



販売店 / 代理店

株式会社シェアメディカル

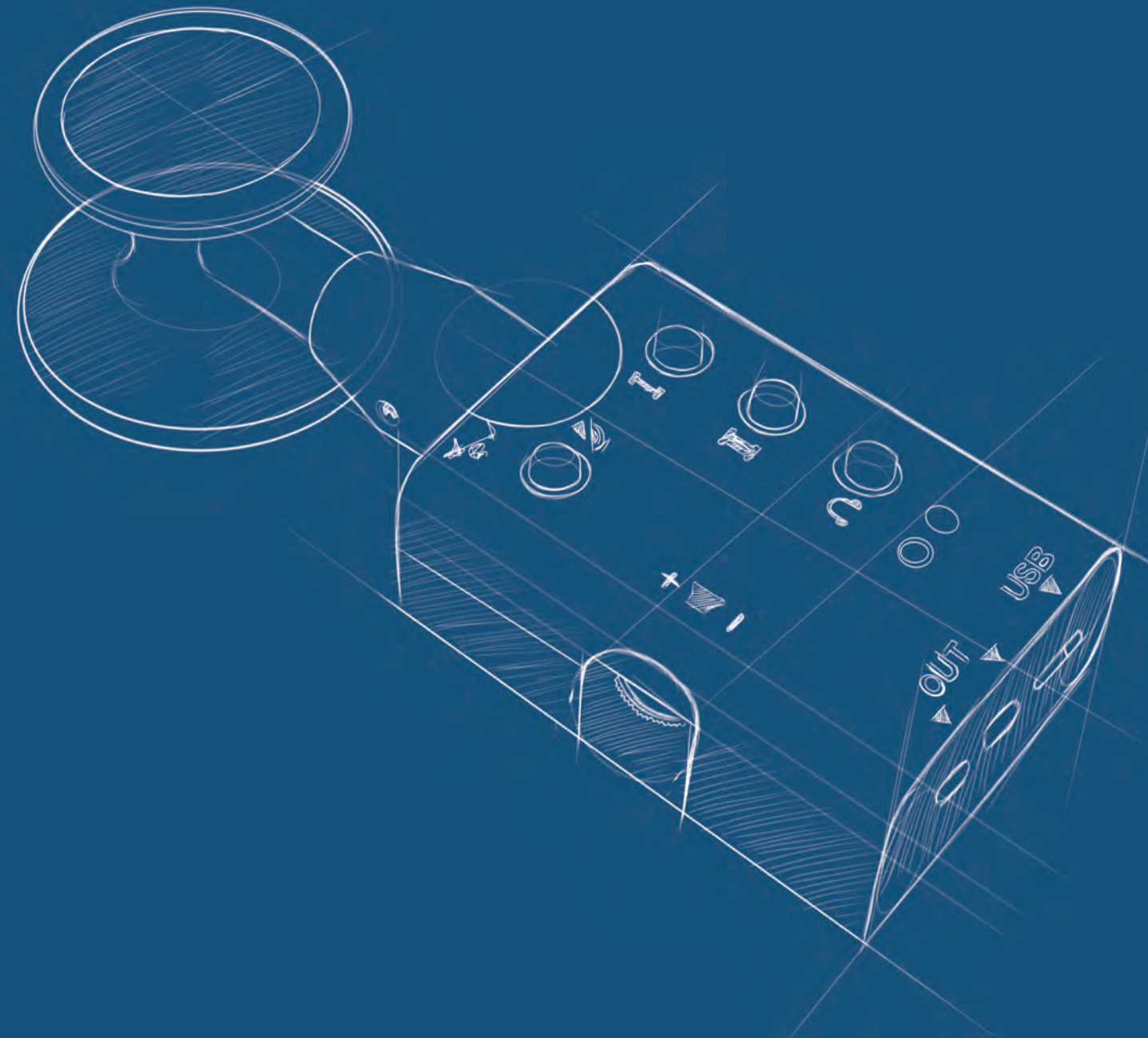
www.sharemedical.jp
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 SPACES 大手町ビル
TEL:03-6841-4127

商品改良のため、仕様及び外観等を予告なく変更することがございます。



nexstetho®

デジタル聴診デバイス ネクステート



世界中のドクターが200年待ち続けた聴診の進化系

医師の声から生まれた 新しいカタチ。

「学校検診のときは、1日に数百回も聴診器をつけ外ししなければならない」「イヤークラスに耳介が圧迫されて痛い」日常の聴診で多くの悩みを抱える医師たち。デジタル聴診デバイス「ネクステート」は、イヤークラスによる痛みを解消するだけでなく、医療業界全体の課題さえもスマートに解決します。19世紀に発明されて以来、進化のなかった聴診器にイノベーションを。ネクステートが診療の未来を変えていきます。



Point 4

その場で 聴診音を共有

無線に加え、有線のオーディオラインを2系統完備することで、合計3端末に出力が可能。ICレコーダーやスマートフォンなどに接続して録音もできます。聞き取りやすく調整された学習用聴診音源ではわからなかった、聴診器の当て方による音声変化が聞き取れるなど、医学教育の進化に貢献します。

Point 5

服の上からでも 音声は明瞭

シャツやブラウスなどの上からでも聴診可能になります。胸を開けてもらう必要がないため、衣服の脱着時間を省略できます。宗教上の理由などから肌を見せたくない患者さまにも配慮しながら、臨床上必要な聴診を行えます。

Point 3

音響特性を知り尽くした 聴診器をそのまま活用

今お使いの聴診器をそのままアップグレード。内蔵された最新のデジタルシグナルプロセッサで、微弱な心音や呼吸音を聞き取りやすくします。ボリューム調節で音量を上げられるので、騒がしい室内でも聴診に集中できます。

Point 1

愛用する聴診器の チェストピースを 取り付けるだけ

ネクステートの使い方は、いたってシンプル。ネクステート本体に使い慣れた聴診器のチェストピースを取り付けるだけで、すぐに利用できます。対応チェストピースは、3Mリットマン各種。小児用や新生児用の小さなチェストピースも取り付け可能です。
※一部非対応のものもございます。

Point 2

ワイヤレスで 聴診できる

これまでの聴診器のように、バイノーラルは必要ありません。Bluetooth®を搭載し、お気に入りのワイヤレスヘッドホンやイヤフォンでの聴診が可能に。スピーカーをつなぎ、患者さまご本人やご家族にも聴診音を共有することで、アドヒアランスの向上に役立てることが期待できます。

ネクステートが 切り拓く 医療の未来



オンライン診療との組み合わせによる 遠隔聴診

看護師は医療施設内にいる医師に、言葉ではなく生体音データを送って指示を仰ぎます。これにより医師は診断に徹することで、現地にいる看護師に明確な指示を出せます。(D to P with N型)。また映像だけでは判断が難しい循環器、呼吸器、消化器系の診療科目に聴診を加えることで、医師が診断に必要とする情報量を増加。より精度の高い診断がなれます。一般開業医が専門医のサポートを遠隔で受ける(D to P with D型)システムにも応用できます。



医学教育への貢献

指導医が聞いている聴診音を、ヘッドホンやスピーカーで研修医に共有。学習用聴診音源ではわからない、聴診器の当て方によって変化する複雑な聴診を体験することで、聴診技術の向上に役立てられます。またICレコーダーやスマートフォンなどに録音しての自己学習にも役立ちます。



医療従事者の感染曝露抑止

感染症では、医療従事者自身も危険に晒されます。スタンダードプリコーション(標準予防策)にネクステートを用いれば、聴診時に顔を近づけても飛沫を浴びる危険性を減らせるため、感染曝露を抑止できます。全身防護服(PPE)を着用していても聴診は可能です。



標準音の定義と、 AIによる聴診サポート

生体音の波形をAIに学習させることで、数値化やグラフ化が可能に。現在、標準生体音の定義を進めています。健康な人間の標準的な生体音を定義できれば、それ以外は何らかの疾患の可能性があると判断できることから、新たな診療スタイルが実現するかもしれません。